

# コマツナ

## 品種

**なかまち（サカタ）**：生育旺盛で低温伸長にすぐれ、そろいが良い。萎黄病耐病性で耐暑性も強く周年栽培できます。特に秋播きの年内どりで威力を発揮します。

**まさみ（トーホク）**：草姿が極立性で、収穫・結束作業の効率が良い品種です。葉色は濃く、光沢があり、節間や胚軸の伸長が少なく収穫適期にも幅があります。



## 作型の例

( は種  収穫)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
夏どり								
秋どり								

## 施肥

- ・収穫までの栽培期間が短いため、基肥主体の施肥します。
- ・土壌 pH は 5.5～6.5 を目標とし、石灰質資材を施用しましょう。

## 施肥例

(kg/a)

肥料の種類	基肥
たかおか堆肥	300
消石灰	20
よう磷	10
ミドリトップ	15
硝加磷安 333	2

## 播種

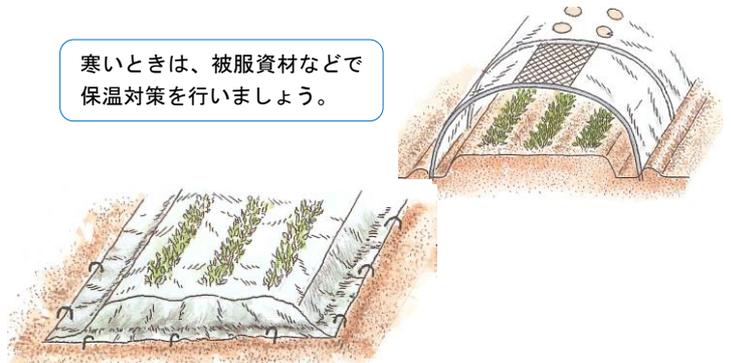
- ・播種前に殺虫粒剤を全面に散布し、土壌と混和してから畝立てを行います。

発芽適温は 15～35℃、生育適温は 20～25℃。播種量は夏播きで 100～150ml/a、春および秋まきは 200ml/a とします。覆土は約 1cm。夏場の高温乾燥時は 2cm 程度とやや深めにします。播種後はたっぷりと均一にかん水します。

## 水管理

- ・発芽までは、乾かさないようにかん水します。発芽後は立枯病の発生を防ぐため、本葉 2～3 枚まではかん水は避けましょう。本葉 4 枚頃から草丈 10cm 頃までは、早朝にかん水を行いましょう。

寒いときは、被服資材などで保温対策を行いましょう。



## 栽培のポイント

- 生育期間が短いので、基肥を早めに施し、発芽したらすぐに十分吸肥できるようにしておきましょう。
- 冬の寒さが厳しいところでは、簡単な防霜対策を行い良品質なものを栽培しましょう。